

牟岐町を元気にするには、観光業も含めた産業の活性化を常に考え行動する拠点が必要だと考えています。また、町の民俗資料は地域にとっても、観光の上でも今後とも保存していくことが必要です。その二つが河内活性化センターだと考えています。2階は民俗資料館、一階には町内産品の販売のほか、町内外の方々が交流を深められる会議室の設置、インターネット販売など販路開拓のスペース、移住交流センター、空き家紹介など、商工会、観光協会、地域おこし協力隊などにより有効な活用方法、事業展開をこれから、模索して休むことなく継続していただきたいと思います。

福井町長

緊急避難所については、昨年11月に県が発表した津波被害想定に基づき、以前の津波避難マップに記載されていた全ての避難場所を見直し、基準水位に達していない場所は除外し、その後、整備した避難場所を追加したものです。

記載にあたっては、町内の自主防災組織の代表者が参加してのワークショップを開催し、協議したうえで記載しています。

津波避難マップの

調査は確実か

櫻谷議員

津波避難マップに記載されている、緊急避難場所と標高は記載されているとお

仁田総務課長

大谷避難広場の階段下の看板と高さが違うのは、いちばん高い場所の高さの表記が基準水位より高い場所の高さの表記かの違いで、地域の方の了解を得て記載しています。

また、以前より設置の看板については、町職員が作成したものもあり、マップの表示と異なっているものも多数あります。表示

については、あくまで目安であり、避難する時は、高さの表示にとらわれずに、より高い所を目指して避難していただきたい。

子育て支援と保育料、

保育事故防止対策は

—山 稔 議員



リンジー先生による保育園児の英語体験

幼稚園就園奨励費補助制度が拡充され、保育料の格差を是正することになりましたが、認定子ども園についても園について施設に支払う運営費で優遇しないとも言われており、現行制度と比較し、10%程度上がるとも言われています。新制度になれば本町への影響は出るのか、現状は

どうか、保育料も0歳から3歳までと、3歳以上、また、昨年と今年ではどのようになっているのか、変わりはないのか。保育園児のいる家庭への保育料軽減見直しについてはどうか。

保育料の滞納はどうか、滞納があれば、どのように対応、対処しているのか。全国的に保育施設での事故が増えているようだが本町では過去に事故はあったのか、あればどのように対処したのか、事故防止として、子どもの安全確保を図るため、どのような対策をしているのかお伺いします。

福井町長

新制度導入の目的は、質の高い幼児期の学校教育及び保育の提供、地域のニーズに応じた多様な子育て支援の充実、待機児童の解消及び子ども減少地域の保育の支援であり、より良いサービス制度であると考えられますが、本町においては、平成25年度よりこども園を運営し、また、放課後子ども預かり事業も実施してい